

# 3年 道徳学習指導案

## 1. 主題構成表

主題名 きまりを守り気持ちよい生活をする

資料名 自転車置き場があるのに 出典：(文溪堂)

<p><b>■内容項目</b>  <b>中C-(11)規則の尊重</b>  <b>(中) 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。</b>  <b>(高) 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。</b></p>	<p><b>■内容項目から見た児童の実態(意識)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守ることが大切だと知っており、きまりを守らない友達に対して注意をする児童の姿もある。</li> <li>・一方で、「自分一人くらいなら大丈夫だろう」「みんながやっているからいいだろう」という身勝手な気持ちからきまりや約束を守らない児童の姿もある。</li> </ul> <p><b>■要因</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の利害を判断基準にして行動することが多く、約束やきまりがある意義や良さを十分に理解していない。</li> <li>・きまりの大切さは分かっているけれど、これまでの生活や体験の中で、互いに約束やきまりを守ることによってみんなが気持ちよく生活することができたという経験が少ない。</li> </ul>	<p><b>■資料の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本資料は、自分たちの行動が周りの人たちに迷惑をかけていると気付いた主人公が自分の行動を振り返り、仲間にも呼びかけるという内容である。</li> <li>・主人公のたけし達は自転車置き場があるのに公園の入り口に自転車を止めたことで、後から来た人たちに迷惑をかけてしまう。放送により迷惑をかけたことを知るが、自分も含め仲間と楽しくサッカーをしている主人公の気持ちに共感することができる。また、管理人のおじさんが自転車を片付ける姿や、車いすのおじさんや小さな子どもたちなど他の公園を使う人の姿を見て、思い切って「それ、ぼくのです。」という主人公の気持ちの変化にも共感することができる。</li> <li>・主人公がサッカーをしているみんなに話したことや、再びサッカーを始めた主人公を見ている車いすのおじさんの思いを考えるを通して、きまりを守ることによって自分も周りの人も気持ちのよい生活できることに気付くと考える。</li> </ul>
<p><b>■価値の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守り気持ちよい生活をするとは、きまりのもつ意義について考えることを通して、きまりが安全にかつ安心して生活できるようにするためにあることを理解し、それを進んで守ることで周りの立場に立ち、お互いが気持ちよい生活をするができるということである。</li> <li>・中学年では、気の合う集団の中にきまりをつくり、自分たちで決めたことを大切にしようとする傾向があるが、身近な生活の中で社会のきまりや公共の場所との関わりについて考えることが少ない。</li> <li>・この時期の児童には、一般的な約束や社会のきまりの意義やよさについて理解し、それらを守るように指導していくことが大切である。さらに社会集団生活をする上で、社会生活の中において守るべき道徳としての公德を進んで大切にすることが必要である。そこで、きまりは自分のためだけではなく、周りの人たちのためにもあることを気付かせ、きまりを守る心情を育てたい。</li> </ul>		
<p><b>■ねらい</b>          公共の場にあるきまりを守ることによって自分や周りの人が気持ちよく安全に生活できることに気づき、周りの人のことも考えて進んできまりを守ろうとする心情を育てる。</p>		
<p><b>■他の教育活動との関連</b></p> <p><b>■事前</b> &lt;給食・学級活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランチルームでの入退場時に約束を守ろうと努力していた姿を価値づける。</li> <li>・生活のきまりや学級の約束について振り返り、どのような姿が望ましいかについて考える。</li> </ul>	<p><b>■本時</b>          「自転車置き場があるのに」</p>	<p><b>■事後</b> &lt;学級活動・社会科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食時の取組活動や校外学習の姿を振り返り、学校での集団生活でのきまりや地域の公共の場でのマナーについて考え、それを守って生活できるようにする。</li> <li>・集団生活でのマナーを守ろうと努力する仲間の姿を紹介していく。</li> </ul>
<p><b>■「私たちの道徳」の活用(授業前・授業中・授業後)</b>          (活用の仕方) p120～121の「気持ちよく過ごすためのきまりやマナーを見付けよう」を学習し、みんなで気持ちよく過ごすための約束やきまりにはどのようなものがあるか話し合い、授業前に記入して本時につなげる。</p>		

2 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇学校や地域等でのきまりについて話し合う。</p> <p>○学校や学級でのきまり、地域等でのきまりやマナーにはどんなものがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレのスリッパをそろえる。</li> <li>・遊具は順番に使う。</li> <li>・分団できちんと並んで登下校する。</li> </ul> <p>◇資料に出てくる公園の自転車置き場について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする価値への方向付けをする。</li> <li>・自転車置き場のある公園の例を提示し、資料への導入を図る。</li> </ul>
展開前段	<p>◇資料「自転車置き場があるのに」を読んで、話し合う。</p> <p>○公園でむちゅうになってサッカーをしているたけしたちは、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでサッカーすると楽しい。</li> <li>・サッカーは楽しいな。もっとうまくなりたい。</li> </ul> <p>○たけしが管理人のおじさんに思い切って「それ、ぼくのです。」と言ったのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・叱られるかもしれない。</li> <li>・車いすのおじさんが入れなくて困っているな。</li> <li>・管理人のおじさんが大変そうで悪いことをした。</li> <li>・自転車置き場があるのに入り口に止めて、やっぱり悪いことをした。</li> <li>・公園に来る人たちに迷惑をかけてしまった。</li> </ul> <p>◎サッカーをしているみんなに、たけしはどのように話をしたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな、自転車どけようよ。</li> <li>・困っている人がたくさんいるよ。早くどけようよ。</li> <li>・やっぱり自転車置き場に置かないといけないよ。車いすのおじさんや他の人に迷惑だよ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>深めの発問（補助発問）</p> <p>○みんなとサッカーを始めたたけしを見ている車いすのおじさんは、どんな気持ちでしょう。また、もしたけしがにこにこしている車いすのおじさんを見たとしたら、どんな気持ちでしょう。</p> </div> <p>〈おじさん〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車をどけてくれてうれしい。</li> <li>・入り口があいて、安心して入れるようになった。</li> </ul> <p>〈たけし〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすのおじさんが喜んでくれた。やっぱり公園はみんなが使うところだから、公園のきまりを守らないといけないな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公を確認した後、挿絵を提示しながら範読し、場面の様子をとらえやすくする。</li> <li>・はじめはサッカーをしてとても楽しい気持ちになっている主人公だが、公園のアナウンスを聞いて少し迷い始めた主人公の気持ちにも共感させる。</li> <li>・思い切っておじさんに申し出た主人公の行為から、他の人に迷惑をかけていることに気づき始めた主人公の心に共感させる。</li> <li>・たけし役を児童、教師が自分本位な友達役を行い、役割演技を通して、公園のきまりを守ろうというたけしの行動から周りのみんなに迷惑をかけていたことに気付かせる。</li> <li>・役割演技を見ている児童に、「たけしは前と違って、公園のきまりを守ろうという思いで、みんなに自転車をどかすことを話しましたね。たけしのきまりを守る姿を見て、どんなことを考えましたか。」と問い、周りの人のことも考えてきまりを守ることで気持ちのよい生活ができることに気付かせる。</li> <li>・にこにこしている車いすのおじさんの気持ちも想像させ、きまりを守ることで周りの人もよい気持ちになることを確認する。また、「もしたけしが見たら～」という場面の続きを想像させることを通して、価値の理解をより確かなものにして、自己の生き方を振り返る活動につなげる。</li> </ul>
展開後段	<p>◇自分の生活を振り返る。</p> <p>○これまでにきまりを守ってよい気持ちだったことや、きまりを守ることに気付いたことや分かったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習に行ったとき、騒ぎたい気持ちになったけれど周りのお客さんのことを考えてマナーを守って見学することができてよかった。</li> <li>・みんなが廊下を走って遊んだりしていたので、自分もいいかと思ってやってしまった。でも、周りの人のことを考えたら、遊んだり走ったりしたら危ないと思う。これからは気をつけたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表しやすいように道徳ノートに書く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈変容の見届け〉</p> <p>周りの人のことも考えて行動することが、自分もみんなも気持ちよく過ごせることに気づき、公共の場にあるきまりを守ろうという思いをもっている。</p> </div>
終末	<p>◇日常観察より、きまりを守ることでみんなが気持ちよく生活できた姿を紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守ることで、みんなだけでなく他学年の子もよい気持ちになった事例を紹介することで、今後の児童の実践意欲を高める。</li> </ul>